



産業精神保健研究機構

Research Institute of Occupational Mental Health

産業精神保健研究機構(リオム)研究会のご案内

世界保健機関 WHO によるメンタルヘルスの定義でも、「生産性が高い状態で働くことができ、コミュニティに貢献できる幸福な状態 (well-being)」と記述されているように、働くことと幸福度は密接に関係していますが、このたびは「幸福学研究」で有名な慶應義塾大学の前野隆司教授 (システムデザイン・マネジメント SDM 研究科長) をお招きし、産業医・精神科医でもある代表理事の宮木 (国際医療福祉大学医学部教授) と共に、幸福度とプレゼンティーズムに関する話題についてご講演・ディスカッションしていただきます。

幸福学とプレゼンティーズム研究の最先端に触れる貴重な機会かと思っておりますので、ご都合のつく方は奮ってご参加下さい。(研究会後、情報交換や懇親のため食事と飲み物を用意して歓談の場を設けます。こちらは実費 5000 円で年内の事前予約が必要ですので、懇親会参加ご希望の方は riomh-staff@umin.ac.jp までご連絡願います。)

- 【テーマ】** 「幸福度とプレゼンティーズム ---働くことと幸福について---
- 【日時】** 2018 年 1 月 16 日 (火) 17:00~18:30 (16:30 開場)
- 【演者】** 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科長 教授 前野隆司
国際医療福祉大学医学部 公衆衛生学 教授 宮木幸一

【プログラム】

講演 1: 国際医療福祉大学医学部 公衆衛生学 教授 宮木幸一

講演 2: 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科

研究科長 教授 前野隆司

質疑応答・ディスカッション

- 【場所】** 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー17 階(先に 18 階専用受付にお越し下さい)
東京都千代田区紀尾井町 1-2 <http://www.tgt-kioicho.jp/access/>

- 【参加費】** 無料 (講演後現地にてケータリングによる懇親会あり、飲み放題付き 5000 円、要予約)

- 【主催】** 国際医療福祉大学医学部教授 宮木幸一

- 【協賛】** 産業精神保健研究機構 (RIOMH リオム)

- 【協賛】** 文部科学省科学研究費 基盤研究 C

「発達障害傾向、愛着パターン、プレゼンティーズムと職場・学校不適應及び抑鬱との関連」
(研究代表者 国際医療福祉大学医学部公衆衛生学 助教 鈴木知子)

- 【協賛】** ヤフー株式会社グッドコンディション推進部

【前野隆司教授 ご略歴】

1984年 東京工業大学工学部機械工学科卒業
1986年 東京工業大学理工学研究科機械工学専攻修士課程修了
1986年 キャノン株式会社入社 生産技術研究所勤務
1990年 カリフォルニア大学バークレー校機械工学科 Visiting Industrial Fellow
1995年 慶應義塾大学理工学部機械工学科専任講師
1999年 慶應義塾大学理工学部機械工学科助教授
2001年 ハーバード大学応用科学・工学部門 Visiting Professor
2006年 慶應義塾大学理工学部機械工学科教授
2008年 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授
2011年 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長およびシステムデザイン・マネジメント研究科付属システムデザイン・マネジメント研究所長兼任

最近のニュース

2017/11/5 RIOMH 会員の菅万希子教授（手塚山大学経営学部）らの論文が、仕事能力学会誌に受理されました。（共著者：宮木代表理事、鈴木理事）

論文タイトル「Presenteeism—医学と経営学の融合に向けた Pilot Study」

上記論文中「マクロ経済的には、presenteeismによる経済的損失について2通りの方法で算出を試みた。宮木らが行った調査結果を基に、わが国の雇用者報酬に占める presenteeismによる経済的損失額を試算したところ19兆1452億円となった。これは2015年の全国の雇用者報酬の約7.3%に当たり、GDPの3%超に相当する。また、マクロ経済の生産関数を推定し、presenteeismの改善によってどれだけ経済規模の拡大が見込まれるかという観点から経済的損失額を算定したところ5兆5429億円という結果が得られた。」とあるように、一般の方々や経営者にもインパクトのある経済評価結果が出ています。

2017/11/25 RIOMH 会員の小塩隆士教授（一橋大学経済研究所長）らの論文が国際誌 *Journal of Occupational Health* に受理されました。（共著者：宮木代表理事、鈴木理事）

Oshio T, Tsutsumi T, Inoue A, Suzuki T, Miyaki K. The reciprocal relationship between sickness presenteeism and psychological distress in response to job stressors: evidence from a three-wave cohort study. *J Occup Health* 2017 Nov 25; 59(6) :552-561. (前回の研究会テーマ。概要はRIOMHホームページご参照ください)

(海外の関連知見) 米国の新薬の治験で、学校や職場での「生産性」の回復度合いを定量評価するため WHO-HPQ をアウトカム指標として用い、有意な改善を認めた論文が公表されました。

Hale et al.. Evaluation of Quality of Life, Functioning, Disability, and Work/School Productivity Following Treatment with an Extended-Release Hydrocodone Tablet Formulated with Abuse-Deterrence Technology: A 12-month Open-label Study in Patients with Chronic Pain. *Pain Pract* 2017 Feb;17(2):229

(出版案内) 2018年1月に金剛出版から、宮木代表理事と児玉理事が分担執筆した書籍

「快適な職場づくり」(仮)が出版予定です。

(出版案内) 2018年3月に東京大学出版会から、宮木代表理事による

「発達障害者の就労支援とプレゼンティーズム---誰もが力を発揮できる職場づくり---」(仮)が出版予定です。(分担執筆者：鈴木理事)

(研究動向) 某大学学生を対象に主観的な WHO-HPQ と客観的な成績指標 GPA の相関評価の試みを、倫理審査委員会の承認を経て実施中です。(研究分担者：宮木代表理事、鈴木理事)

事務局より

産業精神保健研究機構 RIOMH (リオム) へのご入会、お問い合わせは以下のアドレスまで。

大学事務局：成田市公津の杜 4-3 国際医療福祉大学医学部公衆衛生学 WHO-HPQ 日本語版事務局
東京事務所：文京区白山 4-37-4 産業精神保健研究機構

E-mail : riomh-staff@umin.ac.jp Website : <http://riomh.umin.jp/>